

# 2016年3月期 決算説明会

---

ジオマテック株式会社  
2016.5.23

# 2016年3月期業績結果について

# 業績概要《連結》

単位：百万円

	2016/3						2015/3
	実績	計画 (2/8修正)	計画比		前年同期比		実績
			増減金額	増減率	増減金額	増減率	
売上高	9,626	10,000	▲374	▲3.7%	▲1,538	▲13.8%	11,164
営業利益	▲97	▲80	▲17	—	▲790	▲114.0%	693
営業利益率	▲1.0%	▲0.8%	—	—	—	—	6.2%
経常利益	▲11	0	▲11	—	▲756	▲101.5%	745
親会社株主に帰属 する当期純利益	39	50	▲11	▲21.7%	▲833	▲95.8%	922
1株あたり 当期純利益(円)	4.95	6.32	▲1.37	▲21.7%	▲111.70	▲95.8%	116.65
加工高	7,876	8,000	▲124	▲1.6%	▲927	▲10.5%	8,803

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

# 2016年3月期業績概況

## 市場環境

1. スマートフォン、タブレット端末は、米国メーカー及び、中・低価格品を主力とする中国メーカーが牽引する状況で推移
2. 中国市場で、スマートフォン、タブレット端末の需要が鈍化



2016年3月期の市場環境は厳しい状況で推移

## 業績概要

1. デジタルカメラや車載向け反射防止・防汚膜は、売上増加
2. 液晶パネル用帯電防止膜、タッチパネル用透明導電膜は、売上大幅減少



2009年3月期以来の赤字計上

# 財務概要

単位:百万円

	2016/3	2015/3	増減
<b>流動資産</b>	20,428	24,662	▲ 4,234
現金・預金	8,688	9,435	▲ 747
受取手形・売掛金	9,335	12,211	▲ 2,876
たな卸資産	1,562	1,722	▲ 160
その他	843	1,294	▲ 451
<b>固定資産</b>	9,505	9,077	428
有形固定資産	7,508	7,458	50
無形固定資産	159	158	1
投資その他	1,837	1,459	377
<b>合計</b>	29,934	33,739	▲ 3,805

	2016/3	2015/3	増減
<b>負債</b>	11,056	14,254	▲ 3,198
支払手形・買掛金	6,949	9,937	▲ 2,988
借入金等	3,105	3,142	▲ 37
その他	1,002	1,175	▲ 173
<b>純資産</b>	18,878	19,484	▲ 606
株主資本	18,365	18,563	▲ 198
その他の包括利益累計額	512	921	▲ 409
<b>合計</b>	29,934	33,739	▲ 3,805

自己資本比率	63.1%	57.8%	5.3%
1株あたり純資産	2,386.49	2,463.22	▲ 76.73

# キャッシュフロー概要

単位:百万円

	2016/3	2015/3	増減
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	843	2,094	▲ 1,251
税金等調整前当期純利益	50	965	▲ 915
減価償却費	1,052	1,112	▲ 59
売掛債権の増減額(▲は増加)	2,857	▲ 3,348	6,205
仕入債務の増減額(▲は増加)	▲ 2,968	3,243	▲ 6,211
その他	▲ 148	122	▲ 271
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	▲ 1,767	▲ 1,107	▲ 660
固定資産の取得による支出	▲ 1,401	▲ 1,114	▲ 286
その他	▲ 366	7	▲ 373
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	▲ 274	▲ 130	▲ 144
配当金の支払額	▲ 237	▲ 237	▲ 0
その他	▲ 37	107	▲ 144
現金等に係る換算差額	▲ 50	71	▲ 120
現金等の増減額(▲は増加)	▲ 1,247	928	▲ 2,175
現金等の期末残高	9,341	10,589	▲ 1,247
<b>設備投資額</b>	1,130	1,001	129

## 2016年3月期 製品概況

液晶パネル用基板(帯電防止膜) (前期比 86.6%)

米国メーカースマートフォン・タブレット端末向け 安定的に推移  
中国メーカースマートフォン向け 需要低迷により大幅な減少

タッチパネル用基板(抵抗方式) (前期比 72.1%)

カーナビゲーション向け 需要環境変化により減少

タッチパネル用基板(静電容量方式) (前期比 75.6%)

スマートフォン向け パネル一体型が増加  
カーナビゲーション向け増加／ゲーム機器向け減少

有機EL用基板 (前期比 83.8%)

照明機器向け増加／携帯電話(サブディスプレイ)向け減少

その他 (前期比 116.5%)

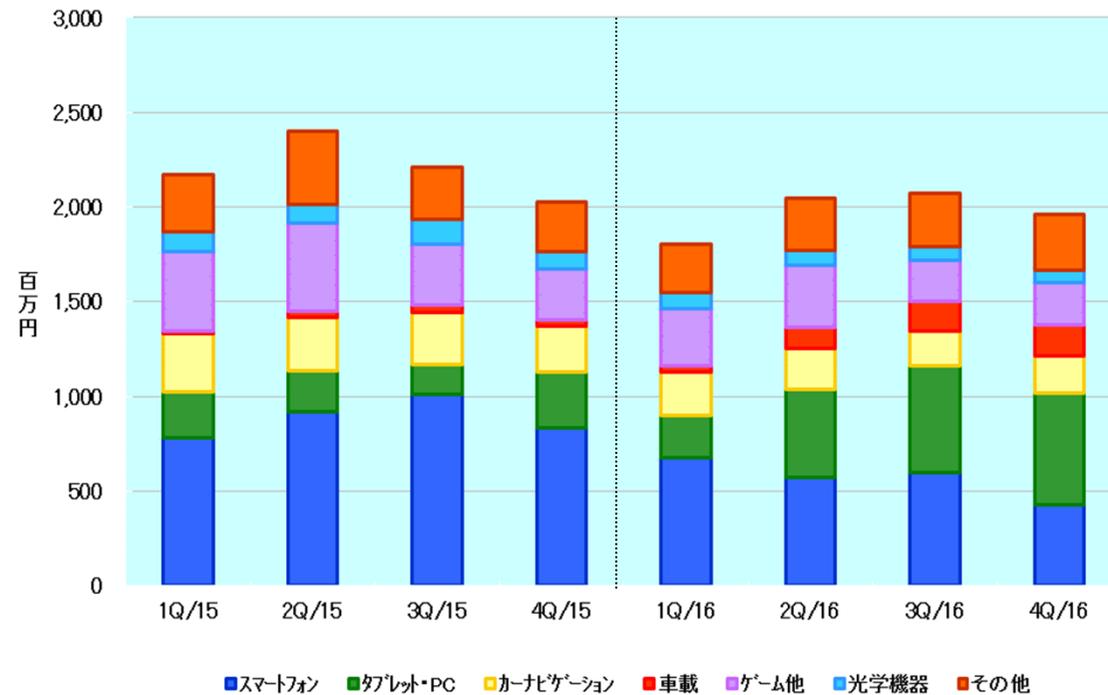
デジタルカメラ・車載向け反射防止膜・防汚膜増加

※( )内の比率は、加工高の前期比率を表します。

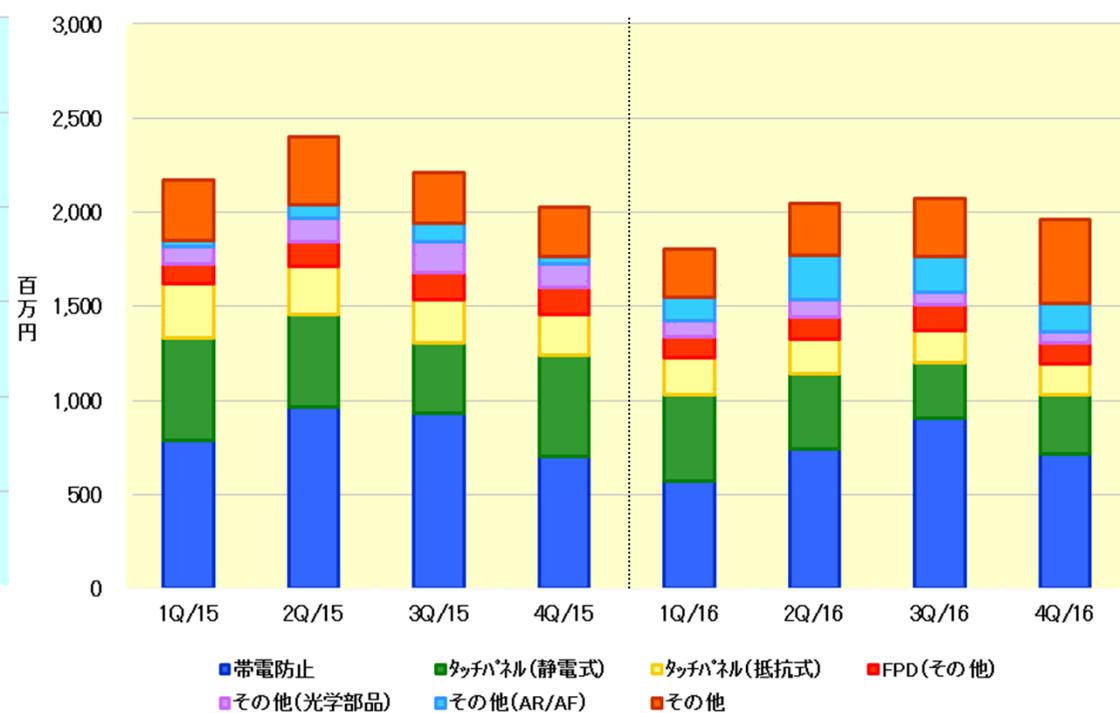
※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 加工高推移

## 最終製品別加工高推移



## 品目別加工高推移



← 15.03期実績 →

← 16.03期実績 →

← 15.03期実績 →

← 16.03期実績 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 2017年3月期業績見通しについて

# 2017年3月期業績見通し

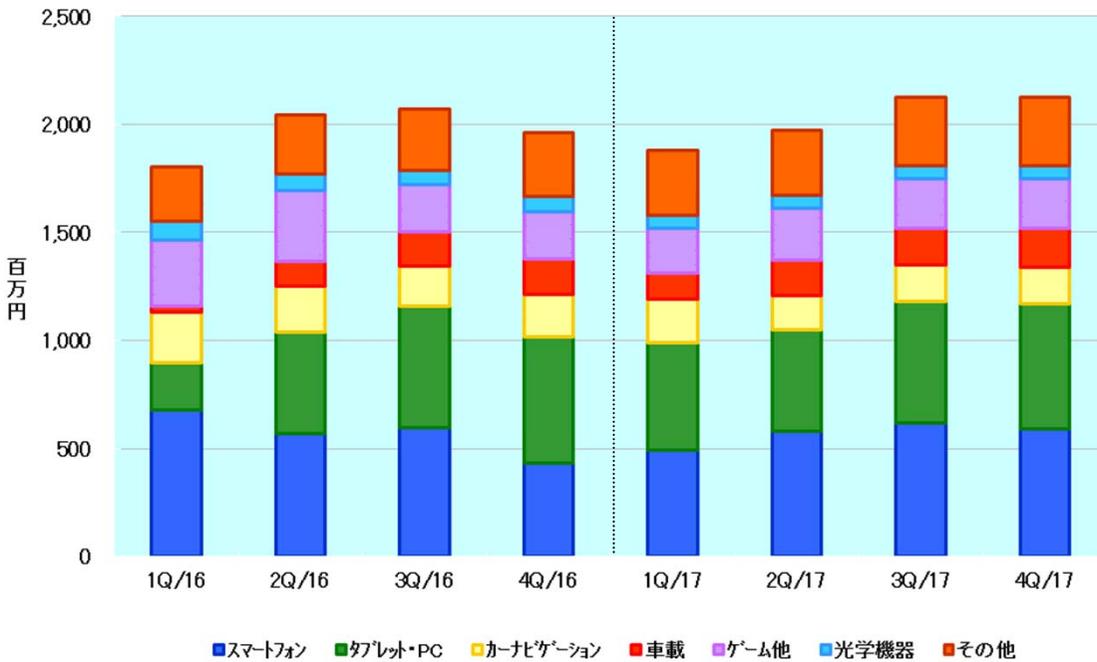
単位：百万円

	2017/3					2016/3
	通期計画	H1計画	H2計画	前年同期比		実績
				増減金額	増減率	
売上高	9,700	4,640	5,060	74	0.8%	9,626
営業利益	210	0	210	307	—	▲97
営業利益率	2.2%	0.0%	4.2%	—	—	▲1.0%
経常利益	250	20	230	261	—	▲11
親会社株主に帰属する当期純利益	230	15	215	269	487.3%	39

加工高	8,100	3,850	4,250	224	2.8%	7,876
研究開発費	450			21	4.9%	429
設備投資額	510			▲620	▲54.9%	1,130
減価償却費	1,145			93	8.8%	1,052

# 加工高見通し

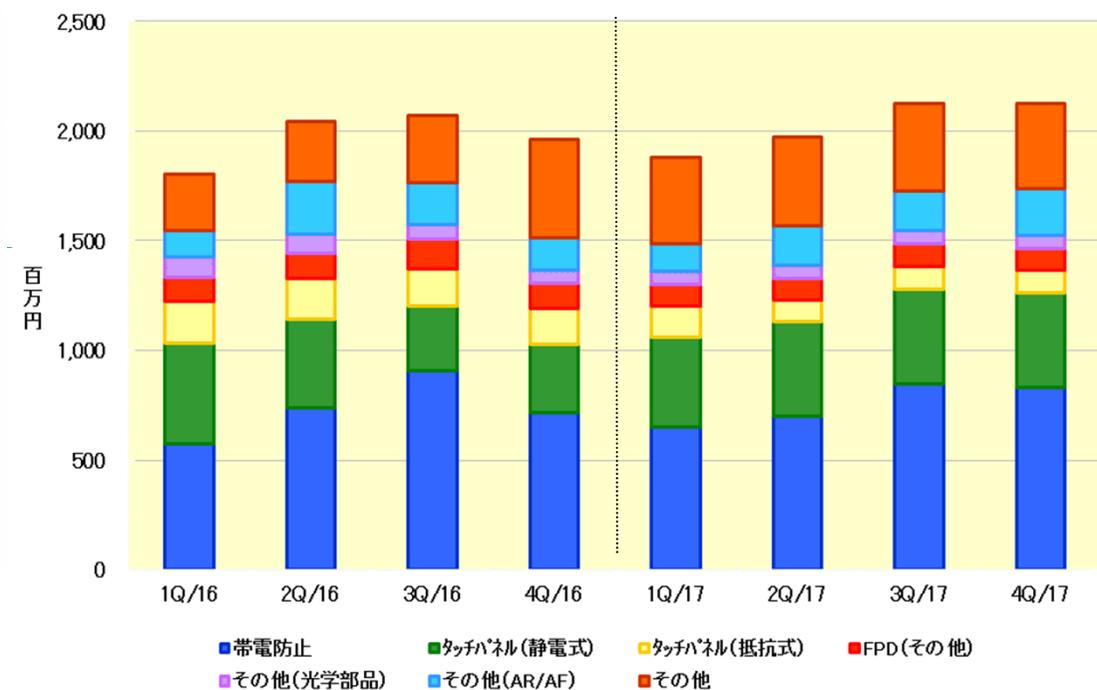
## 最終製品別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期見込み →

## 品目別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期見込み →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 市場環境について

---

## 競争環境における脅威

1. スマートフォンの需要成熟と低価格化
2. 国内液晶パネルメーカーの動向
3. 中国メーカーの台頭

## 競争環境における機会

1. 自動車向けLCDへの薄膜加工案件の増加



**方針: 自動車向けとFPD以外の製品・分野への技術・製造・販売の構築**

# 方針1：自動化と試作品対応の生産性向上

## ■ FPD生産工程の自動化

FPD基板加工の工程を自動化してコスト競争力を強化する



基板着脱工程の自動化 1



基板着脱工程の自動化 2

## ■ 金成テクノセンター開設

金成工場に量産を集約、金成テクノセンターを試作品に特化



金成テクノセンター(旧金成第1工場)

量産  
ライン  
移設

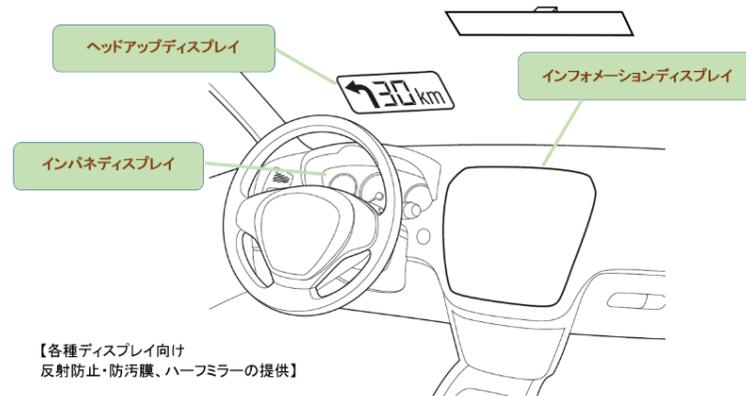


金成工場(旧金成第2工場)

## 方針2: 新たな成膜製品・技術への積極的な関与

### ■ 自動車向けLCD製品

HUD, ルームミラー, インパネ向けの反射防止 (AR) や防汚膜を展開



### ■ 内部への成膜加工

管内への成膜によるインフラや業務用途への機能膜の提供



円筒内成膜の特徴は以下のとおりです。

項目	特徴
円筒内径	φ4mm~
円筒長さ	~1,500mm
膜種	金属膜 (Au, Pt, Ni, Ti など)
基板素材	ガラス、金属、セラミックス 等
その他の特徴	・ナノオーダーで均一な膜厚・膜質を持ちます ・高融点金属も加工が可能です

---

ご清聴いただき、ありがとうございました

# 注意事項

- ・ 情報提供の目的

当資料の目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。なお、掲載されている情報は、細心の注意を払って作成しておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当資料のご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ 将来予測に関する考え方

当資料に掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。